

TT:27 位、予選:27 位⇒27 位、決勝:27 位⇒22 位 シリーズ:0pt

フレーム:birel/エンジン:ROTAX FR125MAX/タイヤ:MOJO/ヘルメット:Arai/スーツ:sparco/シューズ:オークリー

【準備】

1. フレーム、エンジンともに開幕までに何とか準備できましたが、練習が不足していました。
昨年最終戦(9月)以降、1月にエンジンならしで1回走行してから一度も練習できず、レース前日を迎えることになりました。あまり気にはしていませんでしたが、前日走行では想像以上にダメでした。
2. トレーニングも継続して実施していましたが、昨年シーズン中のトレーニング量と比較すると若干下回ってしまうトレーニング量となっていました。案の定、レース前日の走行で走行すると走行はできますが、午後の後半セッションでは少し首が痛いという情けない状況を招いていました。
3. レース前日夕刻は、シート位置調整やアライメント調整をする必要がありましたが、夕食のレストランを予約していたので作業を途中で切り上げ、レース当日朝に早起きして行くことにしました。
今思えば、これが「悪夢」の始まりでした。

【レース当日】 — 「悪夢」の一日(Myエンジンさようなら。。。) —

公式練習:最悪の事態になりました。水を入れ忘れ、エンジンが焼きついて2周で終了しました。

前日夕刻にできなかったシート位置調整やアライメント調整などを朝に行っていましたが、ぎりぎりでなんとか仕上げる始末でした。また、準備が完了していない中でのSSとパンサー両方連続でのお手伝いがあり、慌ただしい準備で水を入れ忘れる始末となってしまいました。

タイムトライアル:排気バルブの調整を忘れそのまま出走。

予選:スタート直後1コーナーで前車クラッシュを避けようと外に出たところ、グラベルで亀の子状態ストップ。
そのまま走らなくても良かったが、練習量が少なかったので走行することになりました。

決勝:前の混乱を避けて前に出るも、ズルズルと落ちていく苦しい展開。あまりの悪循環から、セットをはずしても乗り切る気力がもう残っていませんでした。引退が近い。。。。

【振り返り】

1. 良かった点

- ①いくつかのフレームセットで走行することができ、基本傾向がある程度つかめたこと。
- ②家族の絆が更に強くなったこと。

2. 改善すべき点

- ①エンジン:全損決定を受け、エンジンを新たに手配・準備すること。加藤さんよろしくお願いします。
- ②トレーニング量:最低限シーズン中と同じ量に戻し、第2戦に臨むこと。
- ③ドライビング:正しい操作の反復。セットをはずしてもドライバーがなんとかする気力を持ち続けること。
- ④フレームセット:ノーマルセットを原点に煮詰めていくこと。

3/13-14の走行を分析したところ、ある程度傾向が読み取れました。フロントとリアの剛性・グリップバランスがとれていなかった、低い次元でしかとれていなかったのも、第2戦までに高い次元でのバランスをとるよう練習(テスト)すること。